

- 一 日本勞農黨の積極的支持
- 二 八時間勞働及一週四十八時間制度の實施  
但し鉾山勞働は抗口交替六時間一週三十六時とす
- 三 最低賃銀の設定
- 四 幼年及婦人勞働者の夜業禁止並に寄宿舎制度の改善
- 五 治安警察法治安維持法其他無産階級運動暴壓法令の撤廢
- 六 ヌーデーに全國的休業
- 七 支那國民政府承認

(規約首覽)

(七) 次期大會は、五月三日  
關西地方、昭和三年四月一日より三日間

△ 役員選挙

可決

會長 棚橋小虎  
主事 望月源治

中央委員

加藤勲十	藤岡文六
笠島末吉	岩内善作
小根権十郎	関家博
小松原光太郎	細谷松太
塩田定男	今村 芳
上原清太郎	荻本鉄郎

閉會 午後五時三十分